

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 院庄林業株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒708-0013 岡山県津山市二宮22番地の1
----	-------------------------	----	--

本票作成	部署名：岡山工場 業務課
------	--------------

主たる業種	分類コード	12	業種名：木材・木製品製造業（家具を除く）
-------	-------	----	----------------------

事業の概要	木材製品 加工・製造
-------	------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山県津山市くめ字団地50-1
	②	久米製材工場	岡山県津山市くめ字団地50-68
	③	プレカット工場	岡山県津山市神戸481
	④	本社管理本部	岡山県津山市二宮22番地の1
	⑤	建材センター	岡山県津山市神戸158-2

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 5 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 28 年度)	(平成 30 )年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	10,262 t CO <sub>2</sub>	10,401 t CO <sub>2</sub>	9,954 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30 )年度排出量
	①	岡山工場	5,475 t CO <sub>2</sub>
	②	久米製材工場	3,261 t CO <sub>2</sub>
	③	プレカット工場	1,609 t CO <sub>2</sub>
	④	本社管理本部	37 t CO <sub>2</sub>
	⑤	建材センター	19 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 29 年度	～	令和 元 年度	( 3 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 30 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	9.0 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(久米工場 消費材積、プレカット工場 生産坪数、岡山工場 生産材積)、事務所 床面積	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 30 )年度	目標年度
		134.476 t CO <sub>2</sub> /(別紙)	122.372 t CO <sub>2</sub> /(別紙)	130.441 t CO <sub>2</sub> /(別紙)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

H30年度については若干の需要落ち込みがあり集成材製造の生産数量は前年を下回った結果となったが製材事業、プレカット事業については作業時間の延長、設備更新に伴う生産性の向上により生産量は対前年を上回ったが先に述べた集成材の生産数量減が影響し全体での数値は対前年を下回った。それに伴いエネルギー使用の削減がなされ、原単位当たりの排出量については大幅に下回る結果となった。対前年7.93%減、対基準年度9%減、平成31年度目標対比6.18%減の結果となりました。

**【推進体制】**

省エネ推進会議を月次で開催。各事業所での取り組み内容について意見交換を行い、年度初めの取組計画の実施進捗確認、計画妥当性を検証し取組を推進している。また、各事業所での取り組みで全社的に取り組める事項等あれば、本社管理本部でとりまとめを行い、導入コストの削減に努め、各事業所が取り組みやすい状況を作っている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
久米製材工場 岡山工場	(H30年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライン2直化を再開し、原木消費量を増加させる。 →H30年度2直化を再開し、原木消費を増加させた。</li> <li>・フォークリフト省エネタイプに移行継続 →H30年度2台を入替済み。</li> <li>・F Jラインの更新による消費電力の削減 →F Jライン2台を1台に集約し更新済み。</li> </ul>
久米製材工場 プレカット工場 久米製材工場・岡山工場 本社事務所	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネタイプのモーターへ移行継続。</li> <li>・2号ライン停止時に搬送ラインの稼働を停止させる。 (自動停止させる制御をする)</li> <li>・省エネタイプの蛍光灯に移行(事務所)</li> <li>・フォークリフト省エネタイプに移行継続</li> <li>・基幹システムサーバの稼働日削減継続(休日稼働の削減)</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	有	県産材製品の安定供給、県産木材の積極的活用と普及活動。岡山県産材サポーター
その他	有	合法木材、森林認証材、エコアースウッドの積極的販売

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

・森林ツアーを開催し、森林保護活動への啓蒙活動を実施している。